

目標：信頼される市立病院の運営

## 取組課題1 医療機能の充実・強化

## 取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

No. ページ

① 救命救急医療の充実

1 1 ~ 2

② 災害医療機能の維持

2 3 ~ 4

## 取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充

○ がん診療機能の強化

3 5 ~ 6

## 取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実

① 小児・周産期医療の確保

4 7 ~ 8

② 内視鏡検査・治療の充実

5 9 ~ 10

③ チーム医療の推進

6 11 ~ 12

## 取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進

① 地域医療連携の推進

7 13 ~ 14

② 地域包括ケアシステムの推進

8 15 ~ 16

## 取組項目(5) その他医療提供体制の強化

① 精神科救急医療の強化

9 17 ~ 18

② 感染症医療の確保

10 19 ~ 20

③ リハビリテーション機能の強化

11 21 ~ 22

④ 医療機能再編整備の推進

12 23 ~ 24

## 取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

## 取組項目(1) 人材の確保と育成の推進

① 医療従事者の確保

13 25 ~ 26

② 職員の専門能力の向上

14 27 ~ 28

③ 働きやすい職場づくり

15 29 ~ 30

## 取組項目(2) 医療安全の確保・向上

○ 医療安全・院内感染対策の推進

16 31 ~ 32

## 取組項目(3) 患者に優しい病院づくり

○ 積極的な情報発信と相談体制の強化

17 33 ~ 34

## 取組課題3 強い経営体質への転換

## 取組項目(1) 収入確保に向けた取組の推進

18 35 ~ 36

## 取組項目(2) 経費節減に向けた取組の推進

19 37 ~ 38

## 取組項目(3) 経営管理体制の強化

20 39 ~ 40

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

① 救命救急医療の充実

〔計画 記載ページ P.25〕

高齢者の増加に伴い増大する救急需要に対応するため、救命救急医療（三次救急医療）を担う救命救急センターとして「断らない救急」を目指し、救急搬送患者をより効率的に受け入れられる体制の整備を進めます。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①救命救急センターの安定的な運営及び体制強化に向けた救急医及び救急救命士の安定的な確保
- ②川崎市メディカルコントロール協議会等、市内関係会議への参加及び協力

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
三次救急搬送患者応需率	目標値	/	/	97.6%	97.7%	97.9%	98.1%	98.2%
	実績値	97.4%	99.0%	97.9%	99.4%	98.6%	97.4%	
	評価	/	/	3	3	3	3	
救急自動車搬送受入台数	目標値	/	/	7,332件	7,332件	7,332件	7,332件	7,332件
	実績値	7,332件	7,075件	6,686件	6,451件	5,916件	5,819件	
	評価	/	/	4	5	5	5	

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・循環器疾患に係る救急車受け入れ拡大を目指し、循環器内科医師が直接対応するかわさきコロナリーホットラインの運用を9月から開始しました。消防署への訪問を行い、救急隊に向け周知を行いました。</li> <li>・救急自動車搬送受入台数は新型コロナウイルス感染症の影響もあり減少しました。しかしながら今後増加が予想される救急応需に対応するため、医療人材の安定的な確保を図るとともに、川崎病院医療機能再編整備による救急受入体制の強化に取り組めます。</li> <li>・引き続き、川崎市メディカルコントロール協議会等、市内関係者会議への参加及び協力を行います。</li> </ul>	<p><b>C</b> ほぼ目標ど おり</p>

## 取組進捗状況管理シート

## ＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016－2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●救命救急センター (救急科)医師の 安定的な確保	目標値			18名	18名	18名	18名	18名
	実績値	17名	16名	18名	19名	19名	16名	
●救急医をサポート する救急救命士 (非常勤)の確保	目標値		※定数は2名	2名	2名	2名	2名	2名
	実績値	1名	1名	1名	1名	1名	0名	
●夜間・休日におけ る緊急MRI撮影 実施体制の整備	目標値		※H27.12から実施	整備・実施	実施	実施	実施	実施
	実績値		整備・実施	実施	実施	実施	実施	
救命救急センター 医師事務補助者の 継続配置	目標値			1名	1名	1名	1名	1名
	実績値		1名	2名	2名	2名	2名	
救急隊との症例検 討会の開催	目標値			4回	4回	4回	4回	4回
	実績値	4回	4回	4回	4回	1回	2回	
川崎市救急隊会議 への参加	目標値			延べ8名	延べ8名	延べ8名	延べ8名	延べ8名
	実績値	延べ4名	延べ4名	延べ8名	延べ8名	延べ7名	延べ8名	
川崎市救急隊講演 会への参加	目標値			延べ4名	延べ4名	延べ4名	延べ4名	延べ4名
	実績値	延べ4名	延べ4名	延べ4名	延べ4名	延べ4名	延べ4名	
川崎市メディカル コントロール協議 会への参加	目標値			参加	参加	参加	参加	参加
	実績値	参加	参加	参加	参加	参加	参加	
川崎脳卒中ネット ワークへの参加	目標値			参加	参加	参加	参加	参加
	実績値	参加	参加	参加	参加	参加	参加	
二次救急の 応需件数	目標値			4,500件	4,500件	4,500件	4,500件	4,500件
	実績値	4,702件	4,533件	4,235件	4,094件	3,789件	3,758件	
三次救急搬送患者応 需率（川崎市内）	目標値							99.0%
	実績値	99.0%	99.7%	99.1%	99.5%	99.0%	99.2%	

## 取組課題1 医療機能の充実・強化

## 取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

## ② 災害医療機能の維持

〔計画記載ページ P.25〕

災害拠点病院として、災害派遣医療チーム(DMAT)等を保有し、市内外の様々な災害又は事故現場等に医療チーム又は医師を派遣します。また、災害発生時の孤立化(物資供給や電力の途絶など)に備え、必要な食料、飲料水、医薬品の備蓄や、エネルギーセキュリティの向上に取り組みます。

## &lt;取組内容&gt;

## 令和元年度の主な取組内容

- ①派遣要請対応
- ②各種訓練実施・参加
- ③DMAT隊員の養成
- ④患者に合わせた備蓄食料の拡充
- ⑤災害時対応機能の拡充

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

## &lt;成果指標&gt;

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
災害派遣医療チーム等の派遣要請応需率	目標値			90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%以上
	実績値		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	※応需件数/ 要請件数		1/1	2/2	2/2	1/1	2/2	
	評価			1	1	1	1	
食料・飲料水・医薬品の院内備蓄確保量	目標値			3日間分	3日間分	3日間分	3日間分	3日間分
	実績値	3日間分	3日間分	3日間分	3日間分	3日間分	3日間分	
	評価			3	3	3	3	

## &lt;自己評価&gt;

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害派遣医療チーム等の派遣要請応需率は、ダイヤモンド・プリンセス号に係る新型コロナウイルス感染症患者の搬送要請に対応し、搬送及びDMAT本部の活動を行いました。</li> <li>・9月に災害時医療対応訓練を実施しました。</li> <li>・各種訓練（政府訓練、市総合防災訓練など）に参加し、隊員の技能向上に努め、新たな隊員養成を予定しています。</li> <li>・備蓄用飲料水及び食品は消費期限に応じて入れ換えを行うとともに、患者さんの状態に応じた摂取しやすい食材への変更も進めています。</li> <li>・今後も継続して隊員の技能維持、養成、備蓄の強化に努めていきます。</li> </ul>	<b>B</b> <b>目標を上</b> <b>回って達成</b>

取組進捗状況管理シート

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●災害派遣医療チーム等の隊員の維持・確保【日本DMAT】	目標値	在籍隊員数(研修修了者)		10名	10名	10名	10名	10名
	実績値	8名	7名	10名	10名	9名	8名	
●災害派遣医療チーム等の隊員の維持・確保【市DMAT】	目標値	在籍隊員数(研修修了者)		30名	30名	30名	30名	30名
	実績値	27名	34名	37名	43名	46名	46名	
●備蓄品(食料、飲料水、医薬品)の適切な補充・交換	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
●災害時における情報伝達手段の確保(「かわさきWi-Fi」の整備)	目標値			整備	実施	実施	実施	
	実績値		整備	実施	実施	実施	実施	
●電気設備の浸水対策及び埋設給水管の耐震化	目標値			整備	実施	実施	実施	
	実績値		整備	整備	エネルギー棟設計仕様検討	事業者公募条件等の検討・整理	エネルギー事業者の決定	
非常用発電機オイルポンプ室増築工事	目標値			実施	完了	完了	完了	
	実績値		実施	実施	完了	完了	完了	
給水設備改修工事(埋設給水管耐震工事)	目標値			実施	実施	実施	完了	
	実績値			実施	実施	実施	完了	
【参考】日本DMAT派遣要請数・派遣数	要請数	0件	1件	1件	0件	1件	0件	
	派遣数	0件	1件	1件	0件	1件	0件	
【参考】神奈川DMAT派遣要請数・派遣数	要請数	0件	1件	1件	0件	0件	1件	
	派遣数	0件	1件	1件	0件	0件	1件	
【参考】川崎ワンピース派遣要請数・派遣数	要請数	1件	1件	0件	2件	1件	2件	
	派遣数	1件	1件	0件	2件	1件	2件	
政府主催総合防災訓練(搬送訓練)への参加	目標値			参加	参加	参加	参加	参加
	実績値	参加	参加	参加	参加	参加	参加	
院内災害医療対応訓練の実施	目標値			1回	1回	1回	1回	1回
	実績値	1回	1回	1回	1回	1回	1回	
院内災害対策本部機能訓練の実施	目標値			2回	2回	2回	2回	2回
	実績値	2回	2回	1回	2回	1回	1回	
部署別災害訓練の実施	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
衛星電話通信訓練(井田病院合同)	目標値			12回	12回	12回	12回	12回
	実績値	12回	12回	11回	5回	12回	6回	

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充

○ がん診療機能の強化

[計画 記載ページ P.26]

がん患者がその居住する地域において、病状に応じた適切な医療が受けられるよう、がん診療機能の強化・拡充を進め、「神奈川県がん診療連携指定病院」の指定を目指します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①神奈川県がん診療連携指定病院の継続
- ②がん診療の充実・強化及び関係医療機関との連携・推進
- ③PET-CTの運用開始

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
がん登録数	目標値			1,230件	1,260件	1,290件	1,320件	1,350件以上
	実績値		1,205件 (平成26年分)	1,306件 (平成27年分)	1,293件 (平成28年分)	1,519件 (平成29年分)	1,650件 (平成30年分)	(令和元年分)
	評価			2	3	1	1	
神奈川県がん診療連携指定病院の指定	目標値			準備	指定	維持	維持	29年度指定
	実績値		準備	指定取得	維持	維持	維持	
	評価			2	2	3	3	
がん手術件数	目標値			1,080件	1,100件	1,120件	1,140件	1,160件以上
	実績値	1,061件	1,018件	952件	1,052件	1,059件	1,041件	
	評価			5	3	4	4	

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性

令和元年度の達成度

・神奈川県がん診療連携指定病院については、指定要件が令和元年に変更されましたが、令和2年3月に神奈川県によるヒアリングを受け、令和6年3月までの指定の更新を受けました。今後とも、指定継続のための取組を推進していきます。  
 ・がん診療に関する連携の推進、PET-CTの運用促進のため、広報資料を作成するとともに、医療機関訪問を積極的に行いました。今後、これらの活動を継続し、がん診療の機能強化に努めていきます。

**C**  
ほぼ目標ど  
おり

## 取組進捗状況管理シート

## &lt;具体的な取組&gt;

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●高度な検査・治療機器の効果的な活用と計画的な更新	目標値			—	—	—	MRI②更新	—
	実績値		検討	—	—	—	更新	
●がん先進治療機器・検査機器の導入 (内視鏡手術用支援機器)	目標値			導入	維持	維持	維持	維持
	実績値		準備	導入	維持	維持	維持	
●がん先進治療機器・検査機器の導入 (PET-CT)	目標値			準備	導入	維持	維持	維持
	実績値			準備	導入	維持	維持	
PET-CT運用 件数	目標値	-	-	-	-	600件	1,000件	1,100件
	実績値	-	-	-	-	590件	814件	

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実

① 小児・周産期医療の確保

〔計画記載ページ P.26〕

地域周産期母子医療センターとして、出産前後の母体・胎児や新生児に対する高度で専門的な医療を継続的かつ安定的に提供します。また、市内出生数は減少傾向ですが、ハイリスク妊娠は増加しているため、通常分娩についても積極的に受け入れます。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①近隣の周産期医療機関との協力体制の強化
- ②周産期・小児医療サービスの向上
- ③周産期メンタルヘルスケアの充実

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
周産期救急搬送患者受入件数	目標値			90件	100件	110件	120件	130件以上
	実績値	115件	83件	86件	97件	100件	77件	
	評価			3	3	4	5	
NICU及びGCUにおける新規入院患者数	目標値			310人	316人	322人	327人	332人以上
	実績値	314人	305人	255人	265人	302人	282人	
	評価			5	5	4	5	
分娩件数	目標値			1,065件	1,065件	1,065件	1,065件	1,065件以上
	実績値	1,065件	1,030件	1,050件	974件	897件	923件	
	評価			3	4	5	5	



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「救急面の活動性」を表す「周産期救急患者受入数」は、目標には至りませんでした、近隣周産期医療施設との連携を今後も維持する方針です。</li> <li>・「周産期医療の地域的ニーズの規模」を表す「NICU及びGCUにおける新規入院患者数」は、若干減少しましたが、今後分娩件数の大きな増加が見込まれていないことから、周産期救急関連の入院数を維持していくことが課題です。</li> </ul>	<p><b>E</b> 目標を大きく下回った</p>



## 取組進捗状況管理シート

## &lt;具体的な取組&gt;

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●周産期医療に携わる医師の安定的な確保	目標値	※産科・婦人科・新生児科・小児科		26名	26名	26名	26名	26名
	実績値	26名	25名	24名	26名	26名	26名	
●新生児集中治療管理室NICUの効率的な運用【病床利用率】	目標値	<平成26年度>	<平成27年度>	94.2%	94.2%	94.2%	94.2%	94.2%
	実績値	94.2%	94.1%	87.8%	92.5%	90.4%	95.7%	
●新生児治療回復室GCUの効率的な運用【病床利用率】	目標値	<平成26年度>	<平成27年度>	40.0%	40.5%	41.3%	42.0%	42.7%
	実績値	39.5%	38.6%	30.6%	39.8%	33.0%	37.7%	

## 取組課題1 医療機能の充実・強化

## 取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実

## ② 内視鏡検査・治療の充実

〔計画記載ページ P.27〕

診療科間の更なる連携等により実施体制の強化を進め、高齢化の進展とともに増加する内視鏡検査及び内視鏡治療に対する医療ニーズに応えます。

## &lt;取組内容&gt;

## 令和元年度の主な取組内容

- ①地域医療機関からの検査依頼受入れの拡充
- ②内視鏡検査異常所見を認めた患者への適切な処置及び経過観察
- ③膵・肝胆内視鏡検査の正確な診断と適切な治療の実施

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

## &lt;成果指標&gt;

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内視鏡検査件数	目標値			8,020件	8,040件	8,060件	8,080件	8,100件以上
	実績値	8,028件	8,190件	7,990件	8,264件	8,491件	8,113件	
	評価			3	3	2	3	
内視鏡治療件数	目標値			1,030件	1,050件	1,070件	1,090件	1,110件以上
	実績値	1,010件	1,012件	1,065件	1,103件	1,220件	1,251件	
	評価			3	3	2	1	

## &lt;自己評価&gt;

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・内視鏡検査件数については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり減少しましたが、内視鏡治療の実施件数については、増加傾向で目標値を達成しています。</li> <li>・胃がん検診の制度が変わり、令和2年度から大幅に検診件数の減少が予想されるため、高齢者増加による状況を鑑み、内視鏡検査の必要性を地域に啓蒙していく必要があります。</li> </ul>	<b>B 目標を上 回って達成</b>

## &lt;具体的な取組&gt;

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●夜間・休日における緊急内視鏡検査実施体制の確保	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値		実施	実施	実施	実施	実施	
●検査・治療機器の計画的な更新 (内視鏡機器関連)	目標値			実施	実施・運用	実施・運用	実施・運用	実施・運用
	実績値		実施	実施	実施	実施	実施	

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実

③ チーム医療の推進

〔計画 記載ページ P.27〕

総合病院として合併症を抱えた患者にも安心して治療を受けていただけるよう、また、入院や外来通院中の患者の生活の質（QOL）の維持・向上が図られるよう、複数の医療専門職が連携して治療やケアにあたるチーム医療を推進します。チーム医療を支える看護師、薬剤師、栄養士、臨床工学技士などの専門資格取得を支援します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①栄養サポートチームによる効率的な栄養管理の実施
- ②栄養サポートチーム専任者育成のための認定研修会への参加推進
- ③病院職員を対象としたNST研修会の実施
- ④呼吸サポートチーム回診の実施
- ⑤緩和ケア提供のための継続的な体制整備及び患者総合サポートセンターとの連携強化

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
栄養サポート チーム回診 延べ患者数	目標値			1,700人	1,700	1,700人	1,700人	1,700人以上
	修正目標値					1,800人	1,800人	1,800人以上
	実績値	2,284人	1,667人	1,809人	2,073人	2,064人	1,780人	
	評価			2	1	1	3	
緩和ケアチーム による症状緩和 実施患者数	目標値			250人	250人	250人	250人	250人以上
	実績値	240人	193人	105人	139人	203人	173人	
	評価			5	5	5	5	



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養サポートチーム回診は入院患者が減少したこともあり、前年度より患者数が減少しました。引き続き効率的な栄養管理を行ってまいります。専任者研修へ参加を推進しスタッフ育成にも努めてまいります。</li> <li>・多職種による週1回の病棟ラウンドに加え、専従看護師による病棟及びベッドサイド訪問を毎日実施しています。</li> </ul>	<p><b>D</b> 目標を下 回った</p>

## 取組進捗状況管理シート

## ＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●栄養サポートチームによる栄養管理の実施【回診回数】	目標値			100回	100回	100回	100回	100回
	実績値	150回	100回	98回	100回	101回	99回	
●緩和ケアチームによるがん患者疼痛緩和の実施【実施延べ患者数】	目標値			250人	250人	2,500人	2,500人	2,500人
	実績値	240人	193人	1,272人	1,800人	2,320人	2,470人	
●緩和ケアチームによるがん患者疼痛緩和の実施【回診回数】	目標値			48回	48回	48回	48回	48回
	実績値	48回	48回	160回	260回	260回	260回	
●呼吸サポートチームによる呼吸管理の実施【回診回数】	目標値			40回	40回	40回	40回	40回
	実績値	40回	45回	46回	46回	43回	42回	
●褥瘡対策チームによる褥瘡(床ずれ)の防止等【回診回数】	目標値			44回	44回	44回	44回	44回
	実績値	44回	45回	47回	46回	54回	43回	
●専門資格の取得支援【認定看護師】	目標値	※2病院合計		実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	2名派遣	3名派遣	2名派遣	2名派遣	2名派遣	2名派遣	

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進

① 地域医療連携の推進

[ 計画 記載ページ P.27 ]

地域における医療機能の分化に伴い、基幹病院として求められる高度・特殊な医療を確実かつ効率的に提供していくため「かかりつけ医制度」を推進し、地域医療機関との患者の紹介・逆紹介を進めます。また、検査機器の共同利用など、地域医療を担うかかりつけ医等を支援しながら、「地域医療支援病院」の承認を目指します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①地域医療支援病院の継続
- ②地域医療連携の会の開催
- ③紹介元医療機関への返書等による情報交換の推進
- ④病院・診療所等訪問の実施
- ⑤PET-CT等検査機器の共同利用促進
- ⑥県難病医療支援病院としての取組の推進

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				承認	継続	継続	継続	28年度承認
地域医療支援病院の承認	目標値			承認	継続	継続	継続	
	実績値		承認	継続	継続	継続	継続	
	評価			3	3	3	3	
紹介率	目標値			50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%以上
	実績値	53.7%	61.7%	60.9%	66.0%	68.7%	71.3%	
	評価			1	1	1	1	
逆紹介率	目標値			70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%以上
	実績値	72.3%	78.8%	79.6%	84.6%	79.8%	92.5%	
	評価			1	1	1	1	
検査機器の共同利用件数	目標値			420件	440件	460件	480件	500件以上
	実績値	412件	458件	434件	411件	637件	817件	
	評価			3	4	1	1	



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域医療連携の会」を9月に開催しました。前年度を上回る多くの医療機関等に御参加いただき、当院の取組状況等について、情報発信を行うとともに、医師の顔の見える関係を構築することで、地域の医療機関等との連携強化に繋がりました。</li> <li>・返書の実施状況を委員会等で確認し、返書を含めた情報交換の推進を図っています。</li> <li>・延べ212件の医療機関を訪問しました。川崎市内だけでなく、大田区、鶴見区の訪問も強化し、新たに連携登録医が50機関以上増加するなど、地域との連携関係強化に努めました。</li> <li>・検査機器の共同利用については、特にPET-CTの利用促進のため、令和2年度も近隣の医療機関へ積極的に訪問し説明を行う等、引き続き利用の推進に向けた取組を行っていきます。</li> </ul>	<p><b>A</b> 目標を大きく上回って達成</p>

## 取組進捗状況管理シート

## &lt;具体的な取組&gt;

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●病院の初診に係る 保険外併用療養費 の見直し検討	目標値			改定(引上げ)	維持	維持	維持	維持
	実績値		準備	改定(引上げ)	維持	維持	維持	
病院の再診に係る 保険外併用療養費 の新設	目標値			新設	維持	維持	維持	維持
	実績値			新設(10/1)	維持	維持	維持	
●WEB検査予約シ ステムの導入	目標値			導入	導入	導入	導入	
	実績値		準備	導入	導入	導入	導入	
●地域連携クリニカ ルバスの積極的な 活用【適用数】	目標値			75件	75件	75件	75件	75件
	実績値	70件	69件	61件	53件	56件	69件	
開業医訪問数	目標値			80件	80件	80件	80件	80件
	実績値	6件	13件	42件	54件	103件	212件	

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進

② 地域包括ケアシステムの推進

〔計画記載ページ P.28〕

地域包括ケアシステムによる医療・看護・介護・福祉サービス等が適切に提供されるよう、患者の同意を得た上で、地域で活動する医療・介護従事者等との患者情報の共有を進めるとともに、病院・関係機関相互に医療又は介護の知識を深められるよう、勉強会・症例検討会を開催します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①「地域ケア懇談会」の継続実施
- ②地域の医療従事者を対象とした症例検討会や勉強会の開催
- ③多職種協働による地域連携の推進

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
地域ケア懇談会 開催数	目標値			2回	2回	2回	2回	2回
	実績値		2回	2回	2回	2回	2回	
	評価			3	3	3	3	
勉強会・症例検討会等への地域の医療・介護従事者等参加延数	目標値			210人	220人	230人	240人	250人以上
	修正目標値					880人	890人	900人
	実績値	188人	442人	499人	870人	1,125人	670人	
	評価			1	1	1	5	



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア懇談会は令和元年7月と令和2年2月に開催し、病院内外から合計205人の参加がありました。</li> <li>・勉強会、症例検討会を主催する診療科等における実施体制見直しなどにより開催回数が減少し、それに伴って参加者数も減少しました。</li> <li>・令和2年度においても、新型コロナウイルス感染拡大防止のため勉強会、症例検討会等の延期や中止が相次ぐ見込みですが、地域の医療機関との連携を強化する貴重な機会であるため、感染拡大の状況を見極めたうえで、開催及び参加の呼びかけを行っていきます。</li> </ul>	<p><b>D</b> 目標を下 回った</p>



## ＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●地域ケア懇談会の定期開催	目標値			試行	定期開催	定期開催	定期開催	定期開催
	実績値		10月・1月	10月・1月	8月・3月	7月・2月	7月・2月	
●地域の医療・介護従事者等との勉強会・症例検討会の開催	目標値		※開催数	21回	22回	23回	24回	25回
	実績値	20回	32回	27回	24回	30回	16回	

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(5) その他医療提供体制の強化

① 精神科救急医療の強化

〔計画 記載ページ P.28〕

精神科救急医療基幹病院としての精神科救急患者（措置入院や医療保護入院など）の受入れ、更には精神科病床を有する総合病院としての精神疾患を有する身体合併症患者の受入れをより円滑に行うため、受入体制の強化を進めます。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ① 県精神科救急体制に対応するための県応需病床2床の円滑な運営
- ② 救急応需に必要な精神保健指定医、精神保健福祉士の確保
- ③ 総合病院精神科の役割として精神疾患を有する身体合併症患者の受入れの実施（病病連携、院内他科連携）

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
精神科救急患者受入数（三次及び二次のみ）	目標値			27人	27人	28人	28人	29人以上
	実績値	26人	33人	27人	22人	25人	17人	
	評価			3	5	5	5	
精神科救急応需病床（2床）における平均在院日数	目標値			17.0日	17.0日	17.0日	17.0日	17.0日以下
	実績値	16.8日	14.1日	21.9日	18.0日	20.4日	20.7日	
	評価			5	4	5	5	



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>精神科救急患者受入数については、4縣市協調体制の精神科救急システムを経由した入院であるため、当院でコントロールができるものではありませんが、前年度より減少し、目標値に達していません。</li> <li>今後も患者の受入れが円滑にできるよう運用を続け、病病連携の促進、県精神科救急体制との調整等を進めていきます。</li> <li>精神科救急応需病床における平均在院日数は、精神疾患を有する身体合併症、発達障害、知的障害、認知症等患者の後方移送が遅れたことなどから、目標達成には至りませんでした。</li> <li>しかしながら、神奈川県精神科救急医療システムの中で、基幹病院としての役割を果たすため、医療人材の安定的な確保等に取り組み、精神疾患を有する身体合併症患者の受入れを実施します。</li> <li>今後も、救急体制が円滑に行えるよう、県及び他政令指定都市に協力していきます。</li> </ul>	<p><b>E</b> 目標を大きく下回った</p>

## 取組進捗状況管理シート

## &lt;具体的な取組&gt;

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●精神科医師の安定的な確保 【精神科医師数】	目標値			6名	6名	6名	6名	6名
	実績値	8名	6名	8名	7名	6名	7名	
●精神科医師の安定的な確保 【精神保健指定医数】	目標値			3名	3名	3名	3名	3名
	実績値	3名	4名	3名	3名	3名	3名	
●精神保健福祉士の確保・増員	目標値	※定数は2名		2名	2名	2名	2名	2名
	実績値	1名	1名	2名	2名	3名	3名	
●関係局検討会への参加	目標値			参加	参加	参加	参加	参加
	実績値	参加	参加	参加	参加	参加	参加	

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(5) その他医療提供体制の強化

② 感染症医療の確保

〔計画記載ページ P.29〕

感染症病床を有する市内唯一の第二種感染症指定医療機関として、受入体制を維持・強化し、新型コロナウイルスや中東呼吸器症候群(MERS)をはじめとする二類感染症患者の受入れを行います。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①川崎市新型コロナウイルス等対策検討委員会への参加による診療体制確保及び周辺医療機関との役割分担の確認
- ②検疫所との合同患者受入訓練実施による対応方法強化、個人防護具の着脱訓練、及び感染対策や管理に従事する職員の育成

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
保健所からの要請に基づく二類感染症患者入院要請応需率 (結核患者を除く)	目標値			100%	100%	100%	100%	100%
	実績値		要請なし	要請なし	要請なし	要請なし	100%	
	評価			3	3	3	3	



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスに対応するため、川崎市新型コロナウイルス等対策検討委員会に参加しました。</li> <li>・神奈川県新型コロナウイルス助成制度による簡易陰圧装置の申請を行いました。</li> <li>・東京検疫所川崎支所との合同患者受入訓練を11月に実施し、対応方法や個人防護具の着脱訓練などを見直し、実施方法を変更しました。訓練を通し感染対策や管理に従事する看護師の育成に取り組みました。</li> <li>・2月以降厚生労働省・神奈川県・空港検疫所・川崎市から新型コロナウイルス陽性患者の受入要請が20件あり、ダイヤモンド・プリンセス号から11名、市内発生を9名受け入れました。</li> </ul>	<p><b>B</b> 目標を上 回って達成</p>

## ＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●感染症を専門とする医師の安定的な確保	目標値			2名	2名	2名	2名	2名
	実績値	2名	2名	2名	2名	2名	2名	
●受入体制の強化に向けた施設改修の検討	目標値			検討開始	検討終了			
	実績値			検討	検討終了			

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(5) その他医療提供体制の強化

③ リハビリテーション機能の強化

〔計画 記載ページ P.29〕

早期退院及び在宅復帰に向け、リハビリテーション実施体制の充実を図り、高齢化に伴い増加するリハビリテーション需要に対応します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①新規採用職員の育成と臨時職員の増員
- ②病棟との連携強化
- ③病棟でのリハビリテーションの拡充

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
自宅等に退院した患者の割合 (一般病床)	目標値			95.4%	95.4%	95.4%	95.4%	95.4%以上
	実績値	95.4%	95.1%	95.4%	95.6%	94.9%	95.2%	
	評価			3	3	3	3	
リハビリテーション 実施単位数	目標値			67,000単位	67,000単位	67,000単位	67,000単位	67,000単位以上
	修正目標値					81,000単位	89,000単位	89,000単位以上
	実績値	61,216単位	59,568単位	56,210単位	72,912単位	78,135単位	73,466単位	
	評価			5	2	3	5	

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリテーション実施単位数は、退職等により職員の確保ができなかったため目標値には至りませんでした。実施単位数には職員の能力も影響することから、引き続き適正なリハビリ処方の継続を行うとともに、新規採用職員の育成と、院内での連携強化を継続して行っています。</li> <li>・機能再編推進計画に則って、病棟でのリハビリテーション医療を積極的に推進していきます。</li> </ul>	<p><b>D</b> 目標を下回った</p>

## 取組進捗状況管理シート

## &lt;具体的な取組&gt;

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●リハビリテーション科職員の確保・充実 【配置数】	目標値	※常勤数、臨時職員数		13名	13名	13名	13名	13名
	実績値	11名、4名	12名、4名	11名、2名	15名、3名	15名、4名	21名、4名	
●リハビリテーション科職員の確保・充実 【理学療法士 配置数】	目標値	※常勤数、臨時職員数		実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	6名、2名	7名、2名	6名、1名	9名、1名	9名、2名	13名、4名	
●リハビリテーション科職員の確保・充実 【作業療法士 配置数】	目標値	※常勤数、臨時職員数		実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	3名、2名	3名、2名	3名、1名	4名、1名	4名、1名	5名、1名	
●リハビリテーション科職員の確保・充実 【言語聴覚士 配置数】	目標値	※常勤数、臨時職員数		実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	2名、0名	2名、0名	2名、0名	2名、1名	2名、1名	3名、1名	

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(5) その他医療提供体制の強化

④ 医療機能再編整備の推進

〔計画記載ページ P.29〕

市内における人口増加と高齢化の更なる進展に伴い、今後、増加が見込まれる救急搬送等の医療需要に対応するため、未利用病床の活用等も含めた医療機能の強化・拡充など、医療機能再編整備に向けた検討を進めます。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①機能再編推進委員会を適宜開催
- ②公募によるエネルギーサービス事業者決定、設計着手
- ③救命救急センター棟増築・既存棟改修の設計着手

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		目標値			—	—	—	—
	実績値			—	—	—		
	評価							



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「川崎病院医療機能再編整備基本計画」（平成30年3月）に基づいた事業を実施するため、必要な諸条件の整理や課題の検討等を進めています。検討等に当たっては、機能再編推進委員会を5、7、9、12、3月に開催し、改修対象診療科等に個別ヒアリングを実施するなど、院内の意見集約等を行いました。今後も引き続き、機能再編推進委員会を開催し、情報の共有及び課題の整理検討について進めてまいります。</li> <li>・エネルギーサービス事業については、6月の公募、10月の評価委員会を経て、事業者を決定しました。その後、基本協定を締結し速やかに設計に着手しており、今後は設計の完了及びその設計に基づく工事に向けた準備を進めていきます。</li> <li>・救命救急センター棟増築・既存棟改修についても設計に着手しました。</li> </ul>	<p><b>C</b> ほぼ目標ど おり</p>

※本取組項目の達成度の評価については、成果指標の設定はありませんが、<取組内容>及び<具体的な取組>の状況を勘案して評価しています。



## ＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●院内検討会の設置 ・開催	目標値		※〇数字は開催数	開催	開催	開催	開催	
	実績値		設置・開催②	開催⑫	開催⑫	開催⑥	開催⑤	
●医療機能再編に係る 基本構想・基本計画の策定	目標値			基本構想策定	基本計画策定			
	実績値		準備	基本構想策定	基本計画策定			

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(1) 人材の確保と育成の推進

① 医療従事者の確保

〔計画記載ページ P.30〕

質の高い医療・看護を安定的に提供していくために、優秀な医療人材の安定確保に努めます。また、新たに医療事務職を採用し、精度の高い診療報酬請求事務等の維持・向上に努めます。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

質の高い医療・看護を安定的に提供していくため優秀な医療人材の安定確保を図る。

- ①採用選考の適切な実施による、優秀な臨床研修医、専攻医の確保
- ②大学医局等との連携による、常勤医の円滑な採用
- ③看護師確保のための学校訪問、インターンシップ及び見学会、助産師・看護師・その他医療技術職の学生実習の受入等の実施

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
職場に対する総合的な職員満足度 〔職員満足度調査〕	目標値			38.0%	39.5%	41.0%	43.5%	45%以上
	実績値	—	36.8%	30.6%	28.8%	31.2%	31.3%	
	評価			5	5	5	5	
レセプト査定率	目標値			0.44%	0.43%	0.42%	0.41%	0.40%以下
	実績値	0.45%	0.33%	0.41%	0.38%	0.37%	0.33%	
	評価			2	1	1	1	



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場に対する総合的な職員満足度は、医療技術職で満足度の改善があったものの、全体としては前年度の同程度に留まり、目標を達成できませんでした。</li> <li>・レセプト査定率は、医療事務職による診療報酬請求事務の管理のもと、適切なレセプト点検を実施し、目標値を達成しました。今後も、精度の高いレセプト点検を継続し、査定率の向上に努めます。</li> <li>・臨床研修医及び専攻医の採用を適切に行いました。</li> <li>・大学医局等との連携により、常勤医師の採用や実習の受入れ等を適切に行いました。</li> </ul>	<p><b>C</b> ほぼ目標ど おり</p>

## 取組進捗状況管理シート

## ＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●柔軟な職員採用 選考の実施 【助産師・看護師】	目標値	※()内は地方開催再掲		4回	4回	4回	4回	4回
	実績値	6回(1回)	4回(1回)	5回(1回)	6回(1回)	5回(0回)	6回(0回)	
●柔軟な職員採用 選考の実施 【診療放射線技師】	目標値			適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
	実績値	1回	1回	1回	1回	1回	1回	
●柔軟な職員採用 選考の実施 【リハビリ3職種】	目標値	※PT(理学)、OT(作業)、ST(言語)		適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
	実績値	1回(理学)	1回(作業)	1回(理学、言語)	1回(理学)	0回	2回(理学・作業・言語)	
●柔軟な職員採用 選考の実施 【臨床工学技士】	目標値			適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
	実績値	1回	1回	1回	0回	0回	0回	
●柔軟な職員採用 選考の実施 【その他の職種】	目標値	※医療事務職		適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
	実績値	—	1回(医事)	2回(視能・医事)	1回(医事)	2回(検査・歯科)	1回(医事)	
●医療事務職の配置	目標値			継続	継続	継続	継続	継続
	実績値	計画	1名	2名	4名	3名	4名	

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(1) 人材の確保と育成の推進

② 職員の専門能力の向上

[ 計画 記載ページ P.30 ]

人材育成計画に基づき、医療に関わる高度な知識と経営感覚を兼ね備えた職員の育成を進めます。また、臨床研修指定病院として、将来の医療を担う初期臨床研修医の指導・育成を行います。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①初期臨床研修プログラムによる初期臨床研修医の指導、育成の推進
- ②在職医師への臨床研修指導医講習会受講の推進
- ③地域包括ケアシステムに参画できる認定看護師の育成
- ④各種医療技術職員向け研修受講の推進・支援
- ⑤看護師の特定行為研修の受講による専門的な知識及び技能の向上

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
職場が「人材育成や能力開発に積極的である」と思う職員の割合 〔職員満足度調査〕	目標値			54.0%	55.5%	57.0%	58.5%	60.0%以上
	実績値		52.3%	48.8%	47.9%	44.1%	48.6%	
	評価			4	5	5	5	
認定看護師の人数 ※( )内は井田病院との合計	目標値			24(41)名	24(42)名	25(43)名	26(45)名	27(47)名
	実績値		23(40)名	28(43)名	28(46)名	31(47)名	33(49)名	
	評価			1	1	1	1	
研修医1人あたりの指導医数	目標値			3.0名	3.1名	3.1名	3.2名	3.2名
	実績値		3.0名	3.1名	2.9名	3.1名	3.3名	
	評価			3	3	3	3	



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研修指導医講習会は、受講料を当院が負担し受講を推進しており、今後も積極的な受講促進を行っていきます。</li> <li>・認定看護師については、人材育成計画に基づき派遣を毎年実施しており、令和元年度は認定看護師が2名増加しました。</li> <li>・その他の職員についても、院内研修会や看護協会、各種学会等が開催する研修会へ参加し、専門職としての能力の向上に努めています。</li> <li>・今年度は、2名の認定看護師が特定行為研修を受講し、修了して部署の中で活動を始めました。今後も、医療のニーズに合わせた専門的知識や技術を習得し質の高い看護の提供に努めていきます。</li> </ul>	<p><b>C</b> ほぼ目標ど おり</p>

## 取組進捗状況管理シート

## ＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●人材育成計画の 策定・更新	目標値			更新	更新	更新	更新	更新
	実績値	作成	更新	更新	更新	更新	更新	
●臨床研修指導医 講習会受講の推 進【受講者数】	目標値			10名	10名	10名	10名	10名
	実績値	11名	8名	7名	10名	2名	0名	
●認定看護師の計 画的な育成・支 援	目標値			2名派遣	2名派遣	2名派遣	2名派遣	2名派遣
	実績値	2名派遣	2名派遣	2名派遣	2名派遣	2名派遣	2名派遣	
●新専門医制度へ の対応	目標値			準備	準備	実施	実施	実施
	実績値	準備	準備	準備	準備	実施	実施	

## 取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

## 取組項目(1) 人材の確保と育成の推進

## ③ 働きやすい職場づくり

〔計画記載ページ P.31〕

医療従事者の業務負担軽減を図るとともに、診療や看護等に専念でき、十分な生活時間を確保できるように、補助者の確保を進めるとともに、ワーク・ライフ・バランスに配慮した働きやすい職場環境を整備します。

## &lt;取組内容&gt;

## 令和元年度の主な取組内容

- ①働き方改革推進委員会によるワーク・ライフ・バランスを実現する働く環境の整備
- ②医師事務作業補助者の拡充による医師の業務負担の軽減
- ③子育て支援や非常勤嘱託職員等の活用など、多様な働き方の推進

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
「仕事と私生活のバランスがとれている」と思う職員の割合〔職員満足度調査〕	目標値			37.0%	39.0%	41.0%	43.0%	45.0%以上
	実績値		35.3%	34.6%	36.6%	33.7%	37.5%	
	評価			4	4	5	5	

## &lt;自己評価&gt;

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「仕事と私生活のバランスがとれている」と思う職員の割合は、目標達成にはいたらなかったもの昨年度の実績値より3%以上数値が向上した。</li> <li>・医師の働き方改革について、当院の考え方と患者さんへのお願いをホームページに掲載するとともに、院内に掲示しました。</li> <li>・医師事務作業補助者をさらに募集するため、ポスターを新たに作成し、掲示場所を増やしたほか、外来に設置している院内報に募集チラシを添付しました。今後も医師事務作業補助者の安定的な雇用に向け、新たな広告手法を検討します。</li> </ul>	<b>E</b> <b>目標を大きく下回った</b>

## 取組進捗状況管理シート

## ＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●医師事務作業補助者の確保・充実【配置数】	目標値	※4月1日現在		17名	17名	17名	17名	17名
	実績値	なし	21名	30名	17名	25名	31名	
●看護補助者の確保・充実【配置数】	目標値	※4月1日現在		35名	35名	35名	35名	35名
	実績値	40名	43名	46名	45名	47名	55名	
●子育て支援制度の利用促進【女性の育児休業取得率】	目標値			100%	100%	100%	100%	100%
	実績値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
●子育て支援制度の利用促進【男性の育児休業取得率】	目標値			12%以上	12%以上	12%以上	12%以上	12%以上
	実績値	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
●子育て支援制度の利用促進【配偶者の出産特別休暇完全取得率】	目標値			70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上
	実績値	53%	35%	29%	38.5%	42.90%	13.30%	
●子育て支援制度の利用促進【男性の育児参加特別休暇完全取得率】	目標値			30%以上	30%以上	30%以上	30%以上	30%以上
	実績値	33%	6%	14%	7.7%	42.90%	6.70%	
有給休暇の取得促進【年次有給休暇平均習得日数】	目標値			16日以上	16日以上	16日以上	16日以上	16日以上
	実績値	9.1日	9.0日	9.8日	10.1日	10.0日	10.2日	
有給休暇の取得促進【夏季休暇平均取得日数】	目標値			4.6日以上	4.7日以上	4.8日以上	4.9日以上	5.0日
	実績値	4.5日	4.5日	4.4日	4.4日	4.4日	4.4日	
看護職員離職率	目標値			9.4%以下	9.4%以下	9.4%以下	9.4%以下	9.4%以下
	実績値	9.4%	8.7%	7.3%	7.3%	8.5%	7.4%	

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(2) 医療安全の確保・向上

○ 医療安全・院内感染対策の推進

[計画 記載ページ P.31]

医療事故の原因究明や再発防止に積極的に取り組むとともに、院内感染対策を徹底し、質の高い安全で安心な医療を提供します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①医療事故防止のためのインシデント・アクシデント報告の収集・分析及び院内周知
- ②事故の根本分析による有効な改善策の提案
- ③事故の再発防止と未然防止を目的とした研修会の企画・実施
- ④院内感染対策への取組みとして、サーベイランスの実施、アウトブレイクの早期発見、ICT介入による早期終息
- ⑤感染対策部会のリンクスタッフらによる手指衛生の向上に向けた取組の推進
- ⑥院内感染対策講習会として、全職員向けに計9回の研修会を開催

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
体制の確保 (「医療安全対策加算1」及び「感染防止対策加算1」に係る診療報酬施設基準の届出)	目標値			届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)
	実績値	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	
	評価			3	3	3	3	



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内感染対策への取組として、血液感染/尿路感染/手術部位感染/血液曝露/耐性菌サーベイランスを実施しました。</li> <li>・院内感染対策講習会として、全職員向け研修会を7回、部門別研修会を10回開催しました。</li> <li>・手指衛生の向上のため、速乾性手指消毒薬を部門ごとにポシェット管理に変更を行いました。今後、全ての部門で導入していく予定です。</li> <li>・院内の安全ラウンドを実施し、各部署が主体的にインシデントの分析と対策に取り組めるよう支援しました。</li> <li>・医療事故防止の推進のためにインシデント・アクシデント事例を4半期ごとに収集・分析し委員会や部会を通じ、再発防止策を検討しました。</li> <li>・事故の再発防止と未然防止を目指し医療安全の意識を高める研修会を年度内に26回実施し、全職員の約8割が出席しました。また、同内容による研修を複数回開催し、感染対策との共同研修を行うなど、研修出席率の向上に取り組みました。</li> </ul>	<p><b>C</b> ほぼ目標ど おり</p>



## 取組進捗状況管理シート

## &lt;具体的な取組&gt;

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●医療安全の推進及び医療事故の防止	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
●医療安全対策に係る研修を受けた看護師等の配置	目標値			配置	配置	配置	配置	配置
	実績値	配置	配置	配置	配置	配置	配置	
●感染対策に係る十分な経験を有する医師・看護師等の配置	目標値			2名	2名	2名	2名	2名
	実績値	2名	2名	2名	2名	2名	2名	
●感染制御チームによる活動の推進【ラウンド回数】	目標値			46回	49回	49回	49回	49回
	実績値	37回	46回	46回	49回	49回	46回	

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(3) 患者に優しい病院づくり

○ 積極的な情報発信と相談体制の強化

〔計画 記載ページ P.32〕

患者本位の分かりやすい医療の提供に努めるとともに、病院の医療機能や患者が必要とする情報の積極的な発信、相談部門の強化など、利用しやすい病院づくりを進めます。

<取組内容>

平成30年度の主な取組内容

- ①Wi-Fi設備の追加整備
- ②訪日外国人旅行者受入れ医療機関としての施設の整備
- ③外来モニターによるコンテンツの充実及び患者サービスの向上
- ④ホームページやデジタルサイネージによる患者への情報発信
- ⑤がん相談支援センターによる相談・情報提供体制の強化・推進

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入院患者満足度	目標値			87.0%	87.5%	88.0%	88.5%	89.3%以上
	実績値		86.5%	86.4%	85.4%	86.6%	90.1%	
	評価			3	3	3	3	
外来患者満足度	目標値			76.0%	77.4%	78.8%	80.2%	81.7%以上
	実績値		74.6%	69.3%	68.2%	76.2%	68.0%	
	評価			4	5	3	5	

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性

令和元年度の達成度

- ・外来北側エリアについて、Wi-Fi設備の追加整備を行いました。
- ・電話医療通訳サービスや双方向通訳デバイス（ポケトーク）を導入するなど、外国人対応医療機関としての環境整備を進めています。
- ・患者への情報提供のために配布している国立がん研究センター発行の部位別のがんに関するパンフレット等について、配布場所を増やすなど、患者に情報が届きやすくなるよう取り組んでいます。
- ・市民公開講座を開催し、大変好評であるため、令和2年度以降も、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮しつつ継続して開催していきます。
- ・入院患者満足度は、外来患者満足度に比べ全体的に評価が良好であり、課題であった「食事のおいしさ」や「献立」等食事に関する項目で評価が上がり、満足度が改善しました。
- ・外来患者満足度は、「受付から検査・診察が始まるまでの待ち時間」に対する不満の割合が高い状況は続いています。今後満足度向上に向けた対応策として、新設した2階の飲食スペースについて案内の工夫等を行い、患者サービス向上に取り組めます。

**D  
目標を下  
回った**

## &lt;具体的な取組&gt;

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

	<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●クリニカル・インジケーター(臨床指標)の公表	目標値		準備	準備	準備	準備	
	実績値		準備	準備	準備	準備	
●病院ホームページのリニューアルと内容の充実	目標値		準備	実施	実施	実施	
	実績値		準備	実施	実施	実施	
●病院モニター会議の開催	目標値		2回	2回	2回	2回	2回
	実績値	2回	1回	2回	2回	2回	
●がん相談支援センター(がん相談専門員)の設置	目標値		設置・運用	運用	運用	運用	運用
	実績値		設置	運用	運用	運用	
●市民公開講座の充実	目標値		6回	6回	6回	6回	6回
	実績値	2回	2回	6回	6回	6回	
院内Wi-Fiの整備	目標値		運用	運用	運用	運用	運用
	実績値		整備・運用	運用	運用	運用	
クリニカルパスの積極的な適用	目標値		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	実績値	5,587	5,109	5,084	5,581	5,806	6,021
がん患者相談件数	目標値		200件	300件	300件	300件	300件
	実績値	—	—	191件	671件	632件	556件

取組課題3 強い経営体質への転換

取組項目(1) 収入確保に向けた取組の推進

[ 計画 記載ページ P.32 ]

医療機能の充実・強化を進めるとともに、限られた人材や病床等の効率的・効果的な活用や、精度の高い診療報酬請求・未収対策の強化等により、診療収入の確保に努めます。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①午前退院・午後入院の促進、診療科を超えた柔軟な病床管理、増大する救急やがん等の医療需要への積極的な対応など、入院患者数の増加、病床稼働率の向上等の取組の推進
- ②未収金対策として、文書催告・電話催告、入退院時面談の実施強化
- ③個室料金見直しの試行実施結果の検証を踏まえた利用促進の検討

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
医業収益の額	目標値			174.7億円	177.3億円	178.1億円	179.3億円	179.8億円以上
	実績値	166.2億円	167.6億円	167.0億円	175.7億円	176.5億円	176.1億円	
	評価			3	3	3	3	
入院患者1人1日 当たり診療収入 (入院診療単価)	目標値			58,833円	59,652円	59,887円	60,122円	60,358円以上
	実績値	58,400円	58,564円	61,016円	61,055円	62,979円	64,897円	
	評価			3	3	2	2	
外来患者1人1日 当たり診療収入 (外来診療単価)	目標値			12,072円	12,289円	12,387円	12,486円	12,586円以上
	実績値	11,429円	11,867円	12,323円	13,206円	14,085円	15,294円	
	評価			3	2	1	1	
病床利用率	目標値			76.5%	76.5%	76.5%	76.5%	76.5%以上
	実績値	73.1%	73.9%	70.5%	74.5%	71.3%	67.4%	
	評価			4	3	4	5	



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医業収益については、昨年度より減少しています。患者1人1日当たりの診療収入が昨年度と比較して増加しているものの、入院・外来患者の減少が影響しているものと考えられます。</li> <li>・患者1人1日当たりの診療収入については、昨年度と比較して増加しています。令和2年度についても診療報酬の適正な算定に努めます。</li> <li>・個室料金見直しの試行実施の結果、減免利用率の減少や患者の希望通りの個室料金の部屋へ案内がしやすくなり患者サービスの向上へつながりました。また、減免利用の減少によりベッド移動や床頭台の変更等も減少し、看護師の業務負担軽減に大きく寄与しました。来年度も個室料金見直しの継続と拡充を図っていきます。</li> <li>・総合入院体制加算取得に向けて、通院不要的退院率40%を目指して病院一丸となって取り組み、令和2年3月に達成しました。</li> </ul>	<p><b>C</b> ほぼ目標ど おり</p>

## 取組進捗状況管理シート

## ＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●医療機能の充実・強化による診療収益の確保	目標値	※取組課題1参照		実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
●精度の高い診療報酬請求 【レセプト査定率】	目標値			0.44%	0.43%	0.42%	0.41%	0.40%
	実績値	0.45%	0.33%	0.41%	0.38%	0.37%	0.33%	
●未収金催告・督促の強化 【督促・催告総件数】	目標値			7,500件	7,550件	7,600件	7,650件	7,700件
	実績値	—	7,196件	7,679件	6,575件	5,766件	5,762件	

取組課題3 強い経営体質への転換

取組項目(2) 経費節減に向けた取組の推進

〔計画記載ページ P.33〕

委託業者の仕様の精査・見直しによる委託料の縮減、医療材料等のより安価な同等代替品への切り替えや適正な在庫管理などによる経費の節減に努めます。また、業務改善や効率的な業務執行などにより、時間外勤務の縮減を進めます。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①医療機器の購入にあたり、保守契約を含めた入札実施の検討・促進
- ②医療機器保守契約の見直しによる委託料節減（MEセンターと協力）

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		職員給与費対 医業収益比率			55.7%	54.2%	53.7%	53.5%
	実績値	52.4%	54.5%	57.0%	54.3%	53.8%	54.8%	
	評価			3	3	3	3	
委託費対 医業収益比率	目標値			13.2%	13.0%	13.0%	12.9%	12.8%以下
	実績値	14.2%	14.7%	14.6%	14.4%	13.9%	14.1%	
	評価			5	5	4	4	



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤及び診療材料の価格交渉の実績がある業者とアドバイザー契約を結び、納入価格の引き下げに取り組みました。</li> <li>・医療機器の購入においても価格交渉を強化するとともに、保守契約を含めた入札を4件実施しました。今後も経営企画室契約担当と連携しながら対象案件の拡充を進め、委託料の縮減に取り組んでいきます。</li> <li>・医療機器の保守契約に係る次年度の予算要求にあたり、MEセンターの協力を得ながら保守内容の見直しを進め、委託料の抑制を図りました。今後も随時見直しを進めていく予定です。</li> </ul>	<p><b>C</b> ほぼ目標ど おり</p>

## 取組進捗状況管理シート

## ＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016－2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●委託業務の仕様の精査・見直し	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
●業務効率化による時間外勤務の縮減【時間外勤務手当】	目標値			適正化	適正化	適正化	適正化	適正化
	実績値	9.1億円	9.2億円	8.6億円	6.8億円	6.8億円	6.5億円	
●施設・設備の計画的な維持補修と機器更新の実施	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値		計画策定	実施	実施	実施	実施	
●光熱水費の縮減に向けた高効率設備機器等への転換	目標値			順次実施	順次実施	順次実施	順次実施	順次実施
	実績値	—	実施	実施	実施	実施	実施	
一般競争入札の推進【指名競争入札案件への適用】	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
医療材料等の共同購入の実施	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
適正な在庫管理【薬剤廃棄】	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	

## 取組課題3 強い経営体質への転換

## 取組項目(3) 経営管理体制の強化

〔計画記載ページ P.33〕

病院の経営状況や課題等に係る情報の共有化を徹底し、病院職員の経営意識を醸成します。また、毎年度、各部門ごとに本計画の達成に向けた目標設定を行うとともに、本庁部門と各病院三役等が出席する経営会議を定期的に関催し、その進捗管理を行うなど、経営改革を一層推進します。

## ＜取組内容＞

## 令和元年度の主な取組内容

- ①経営会議による本計画の進捗管理の実施
- ②病院幹部会議における病院経営状況等の報告
- ③総合医療情報システムを用いた経営状況の周知
- ④実現可能な施設基準取得への取組

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

## ＜成果指標＞

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
「病院の経営に参画したい」と思う職員の割合 (職員満足度調査)	目標値			24.0%	25.5%	27.0%	28.5%	30.0%以上
	実績値	—	21.2%	19.5%	18.1%	16.3%	19.3%	
	評価			5	5	5	5	
経営会議開催数	目標値			10回	10回	10回	10回	10回以上
	実績値	11回	10回	10回	12回	12回	12回	
	評価			3	1	1	1	

## ＜自己評価＞

## 成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性

令和元年度の達成度

- ・「病院の経営に参画したい」と思う職員の割合は前年度より増加しました。職員の意識が徐々に変化しているものと考えられます。
- ・診療科別目標管理制度を実施し、毎月の幹部会議（運営会議）において経営状況を確認しています。引き続き経営意識の醸成を図るとともに指標の向上を目指します。
- ・施設基準ワーキングを定期的に関催し、新たな施設基準取得に向け課題を明確化し、取得可能な施設基準については届出を実施しました。
- ・総合入院体制加算の取得に向け、必要な課題をクリアするため、運営会議で周知を行い、病院全体で協力し取り組んでいます。

**C**  
ほぼ目標ど  
おり



## 取組進捗状況管理シート

## ＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016－2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●経営会議による本計画の進捗管理の実施	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	—	—	0回	0回	0回	0回	
●病院幹部会議における病院経営状況等の報告	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	—	—	実施	実施	実施	実施	
●総合医療情報システムを用いた経営状況の周知	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	—	—	実施	実施	実施	実施	
中期経営計画勉強会の開催	目標値			実施	実施	実施	実施	
	実績値	—	—	1回	1回	0回	0回	
新任・局間異動者研修会の開催	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	—	—	1回	1回	1回	1回	
診療科別目標管理制度の導入	目標値			試行実施	導入	導入	導入	
	実績値			試行実施	導入	導入	導入	